

Program Outline

プログラム概要

特別企画

本音で「ごみ」トーク！ “ごみの未来”は私たち次第？

特別ゲスト
滝沢秀一さん
お笑い芸人
ごみ清掃員

ごみを出さない、出しても無駄にせず分けて資源として循環する、そんな社会を実現するには？私たちの日々の暮らしからは、たくさんのモノが“ごみ”として捨てられています。その背景にあるのは、「大量生産、大量消費」という今の社会のありかた。問題を解決するためには、モノを生産する企業や、ごみを収集・処理・処分する自治体などの努力だけでなく、私たち消費者の行動も重要な鍵に。“ごみ清掃芸人”として活躍する滝沢秀一さんをごゲストにお迎えし、“ごみ問題”のない未来を目指して、専門家、企業、市民など、それぞれの声を聞きながら、持続可能な社会について考えます。



事前申込制イベント

環境カフェふくしま ～特別編～

地域の高校生とNIES福島地域協働研究拠点で対話によって、環境について、学び、考える「環境カフェふくしま」の特別編として開催します。テーマは、「災害からながめる暮らしと自然」です。普段は福島県立安積黎明高校の参加者同士で行っていますが、今回、一般公募で参加して下さる皆様と一緒に話してみたいと思います。

【対面開催】 国立環境研究所プレミアムツアー

対面で参加される方を対象に、特別に所内をご案内するツアーです。国立環境研究所の紹介の他、3つの企画にご案内いたします。

※詳しくは寄附金に関するページをご参照願います。

生配信イベント

琵琶湖コイ・フナの1年を追跡せよ！固有種と食文化を救う最新科学の挑戦

日本一広い湖「琵琶湖」。鮎ずしの材料になるニゴロブナやゲンゴロウブナは琵琶湖の固有種ですが、昭和の終わりから漁獲量が減少し問題になっています。琵琶湖の生物多様性と在来魚資源を守る、最新の科学を駆使した研究者の取り組みを紹介します。

対象年齢 全年齢

100人で海水酸性化実験

海水のCO₂吸収を色で確かめる“海水酸性化実験”を、オンライン生中継の体験型イベントとして開催します。専用キットを事前申込者に郵送、キット送付者のうち15名には当日Zoom生中継に入って一緒に体験してもらいます。当日YouTubeでの視聴も可能です。

対象年齢 小学生以上

詳細はこちら▶

つくば×観測サイト 生中継ラボツアー

つくばの地球温暖化研究棟と、日本各地に設置されている地球環境観測サイトの研究現場からリアルタイムZoom中継を行い、研究内容や観測現場の様子を第一線の研究者がわかりやすく解説します。

対象年齢 小学生以上

見せます、答えます、クイズも します、ごみと資源の話

焼却炉や埋立地を模した実験プラントやマイクロプラスチック、リチウムイオン電池、災害廃棄物に関する研究をわかりやすい動画で紹介いたします。

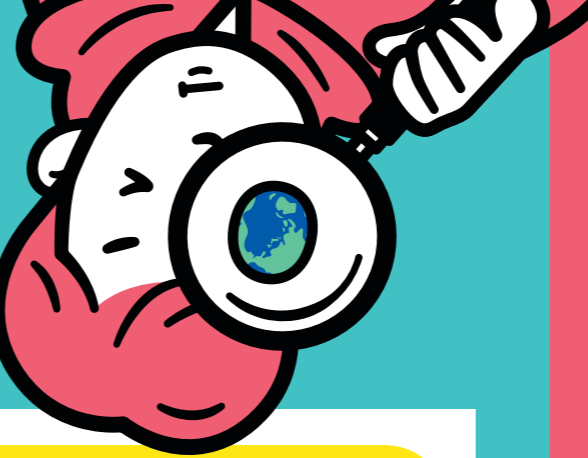
対象年齢 小学生以上

国立環境研究所寄附金 プロジェクトについて

国環研が行っている、寄附金プロジェクトについて紹介します。

対象年齢 小学生以上

イベントが楽しみ！



ウェブコンテンツ

7月16日(土) 9:30より視聴/参加可能

資源循環クイズ ～クイズ王を目指せ～

身の回りの“資源”について学ぼう！！インターネット上で、初級、中級、上級(各5問)のクイズに挑戦してもらいます。全問正解するとクイズ王に！皆さんの挑戦(チャレンジ)をお待ちしています！詳しくは、資源循環領域の特設ページをご覧ください。お待ちしております！

対象年齢 小学生以上

詳細はこちら▶

NIES藻類クイズ

「藻類」に関するオンラインクイズに挑戦！全問正解できたら、あなたは藻類ハカセ！不正解だったら…？

対象年齢 全年齢

所要時間 5分程度

サステナブルな暮らしを知ろう

「サステナブルな暮らし」をキーワードに、幅広いオンラインコンテンツを準備しました。つくばの景色に関する神経衰弱、持続可能なまちづくりに関するアニメ、クイズ、都市工学の専門家による街ブラ動画や食と環境に関する動画もあります。大人も子供も楽しめる企画満載です。

対象年齢 小学校低学年以上

デジタル紙芝居 「こんにちは、適応策」

気候変動適応について分かりやすく、楽しく学ぶことができるデジタル紙芝居を行います。「適応って何？」というそもそも質問への説明あり、「えっ、これも実は適応?!」「自分たちができる適応は、実はたくさんあるんだね。」などの反応も聞こえてきそうな、子どもから大人まで幅広く楽しめる内容です。ぜひご覧ください！

対象年齢 高校生以上

YouTube LIVE Timetable

タイムテーブル

開催時刻に指定があるイベントは、こちらからご確認ください。

10	10:00-	オープニング
	10:05-	100人で海水酸性化実験
	10:50-	見せます、答えます、クイズもします、ごみと資源の話
11	11:05-	サステナブルな暮らしを知ろう
	11:10-	琵琶湖コイ・フナの1年を追跡せよ！固有種と食文化を救う最新科学の挑戦
	11:40-	つくば×観測サイト 生中継ラボツアー
12	12:40-	デジタル紙芝居 「こんにちは、適応策」
	12:45-	国立環境研究所寄附金プロジェクトについて
13		休憩
	13:30-	【特別企画トークセッション】 「本音で「ごみ」トーク！ “ごみの未来”は私たち次第？」

ようこそ未来の
環境博士！

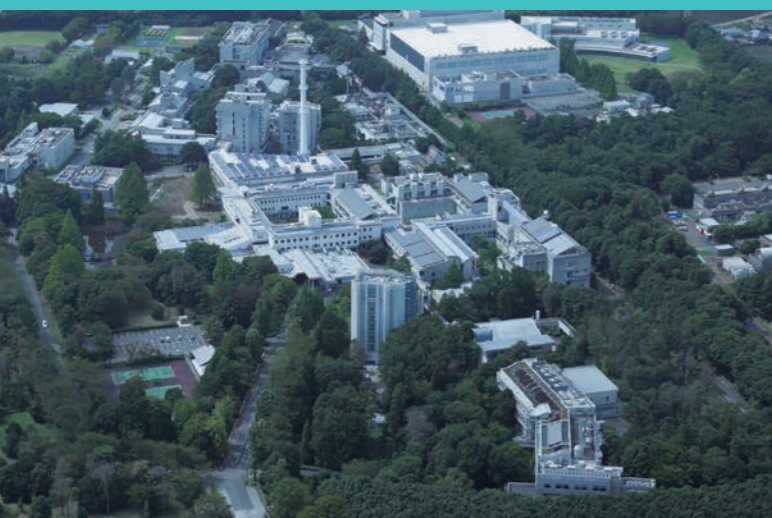


Facility introduction

国立環境研究所 施設等紹介

夏の大公開2022で登場する国立環境研究所の施設等について紹介します。
この他にも様々な実験施設や観測施設を各地に有しています。

施設ごとに
特色があるんだ!



📍 茨城県 | つくば本部

茨城県つくば市には、1974年に設立された国立環境研究所の本部がおかれています。さまざまな分野の研究室や実験施設のほか、研究所の組織運営を担う企画・支援部門の機能もこの本部に有しています。つくば本部は230,639平方メートル(東京ドーム約5個分)の広さを持ち、研究所が設立される前から残されている自然林をはじめとした草木や、水辺に生い茂る草花に囲まれた、自然豊かな環境が特徴です。休憩時間には、咲き誇る桜や鮮やかに色づく葉を見上げながら散歩する職員が目立ちます。



📍 福島県 | 福島地域協働研究拠点

福島地域協働研究拠点は、災害環境に関する研究を行うため、2016年から福島県三春町に設けられている研究拠点です。2011年3月に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所事故による影響について、様々な分野の調査研究を行っています。福島地域協働研究拠点がある福島県環境創造センター内の「コミュニティ福島」では、福島の環境について楽しく学ぶことができます。



いろいろな場所にあるんだね!



📍 滋賀県 | 琵琶湖分室

琵琶湖分室は、琵琶湖を中心とした湖沼環境についての研究を行うため、2017年に滋賀県大津市に設置されました。滋賀県琵琶湖環境センター内に位置し、主に琵琶湖の水質と生態系についての研究を行っています。琵琶湖のほとりに建つ琵琶湖環境センターの大きな窓からは、南湖と湖畔の街並みを一望することができます。



📍 北海道・その他

北海道苫小牧市の国有林内にはフラックスリサーチサイトが設置されています。観測施設は北海道の他にも設けられており、長期的な観測によって得られるデータは、環境の変化を調べるために、とても重要な役割を担います。

